



ケアーズ訪問看護リハビリ ステーション仙台東

事業所番号 0465290146



ケアーズ 仙台東

訪問看護リハビリステーション

宮城野区原町2-4-20
イーストキャッスル仙台201
TEL 022-355-8817
FAX 022-355-8812

ケアーズ 仙台泉

訪問看護リハビリステーション

青葉区桜ヶ丘1-1-13
恒産桜ヶ丘101
TEL 022-341-8804
FAX 022-341-8892

ケアーズ 仙台南

訪問看護リハビリステーション

太白区長町南3-3-43
長町南たちばなビル302
TEL 022-281-8853
FAX 022-281-8852



Facebook

and

Instagram



KEEP SMILE 株式会社

Dreams come true

大切な人と一緒に過ごしたい

住み慣れた家や地域で
住み続けたい

1人ひとりの思いや夢を大切に

在宅での生活をサポートさせていただきます

会社紹介 KEEP SMILE 株式会社

《本部》

ケアーズ訪問看護リハビリステーション仙台東

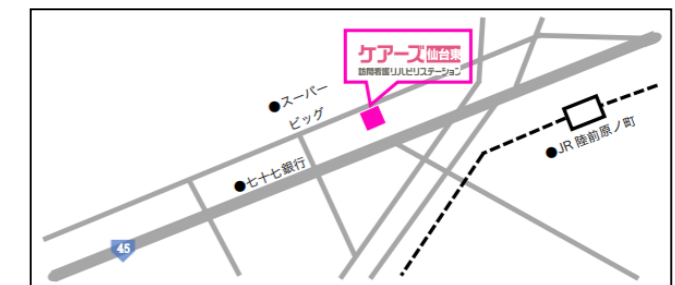
宮城県仙台市宮城野区原町2-4-20

イーストキャッスル仙台201

TEL 022-355-8817

FAX 022-355-8812

Mail: station@cares-eastsendai.com



《出張所》

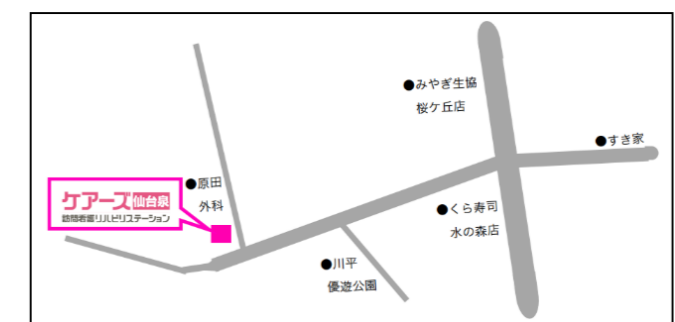
仙台泉サテライト

宮城県仙台市青葉区桜ヶ丘1-1-13

恒産桜ヶ丘101

TEL 022-341-8804

FAX 022-341-8892



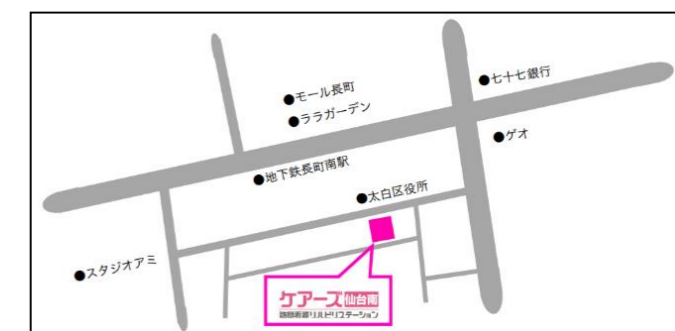
仙台南サテライト

宮城県仙台市太白区长町南3-3-43

長町南たちばなビル302

TEL 022-281-8853

FAX 022-281-8852



《訪問範囲》

仙台東

宮城野区、多賀城市、
塩釜市、七ヶ浜町、利府町

仙台泉サテライト

青葉区、泉区
富谷市（一部）

仙台南サテライト

太白区、若林区
名取市（一部）
その他、地域についてはご相談ください。



ケアーズ仙台東は・・・

- 年間**300**件を超える利用相談実績
年間**250**件を超える新規利用実績

これまで多くの医療機関、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターなどからご紹介を頂き、数多くのご利用者の在宅生活を支援してきました。この実績をもとに安心安全のケアを一人ひとりの生活に合わせた形で提供させていただきます。

- 多職種が在籍

当ステーションでは、**看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士**が合わせて**50名**以上在籍しております。多職種が連携しながらそれぞれの専門的知識と技術で支援することにより、質の高いケアを提供することができています。

- 小児から高齢者まで幅広い年齢層や疾患に対応

当ステーションでは、**0歳から100歳超**の利用者様がサービスをご利用されております。疾患も様々であり、**難病、精神**なども対応しております。

- 24時間対応体制、ターミナルケア

ご希望があれば、ご利用者やそのご家族からの電話による連絡や相談に常時対応し、必要に応じて緊急時の対応が可能な体制を整えています。また、ご自宅でのお看取りを希望される方に対しては、**ターミナルケア**や**エンゼルケア**も行っております。

- 介護予防・日常生活支援総合事業への取り組み

市区町村と連携をしながら、すべての高齢者の方を対象に体力づくり教室や講習会を実施しており、地域の元気を支える活動を行っております。

Q & A

Q1 どんな人が訪問看護を利用できるの？

A 下記に訪問看護利用のためのチェックリストを記載しました。ご本人・ご家族に当てはまると思う項目にチェックを付けてください。**3つ**以上当てはまる場合は、お気軽にご相談ください。

◆ 療養状況

- | | |
|--|--|
| ● 栄養状態 | ● 排泄 |
| <input type="checkbox"/> 食事療法が必要 | <input type="checkbox"/> 排尿障害がある |
| <input type="checkbox"/> 脱水を起こしやすい | <input type="checkbox"/> 排便のコントロールがうまくできない |
| <input type="checkbox"/> 誤嚥しやすい | <input type="checkbox"/> 便秘がある |
| <input type="checkbox"/> 食事摂取量が少なくなった | <input type="checkbox"/> 浣腸や摘便が必要 |
| <input type="checkbox"/> 水分摂取量が少ない | <input type="checkbox"/> 頻回にトイレに行く |
| ● 清潔 | ● 移動 |
| <input type="checkbox"/> 入浴や清拭の介助が必要 | <input type="checkbox"/> 介助が必要 |
| <input type="checkbox"/> 口腔内の清潔保持ができていない | <input type="checkbox"/> 転倒の既往がある |

◆ 退院後も継続する医療処置

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> インスリン療法等の自己注射 | <input type="checkbox"/> CAPD（腹膜透析） |
| <input type="checkbox"/> 経管栄養 | <input type="checkbox"/> 尿路系管理（留置カテーテル自己導尿等） |
| <input type="checkbox"/> 点滴 | <input type="checkbox"/> 疼痛管理 |
| <input type="checkbox"/> 中心静脈栄養 | <input type="checkbox"/> 在宅酸素療法 |
| <input type="checkbox"/> 創や褥瘡の処置 | <input type="checkbox"/> 人工呼吸器（マスク式、気管切開下） |
| <input type="checkbox"/> ストマケア | |

◆ 服薬管理

- | | |
|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> うまく薬が飲めない | <input type="checkbox"/> 薬の飲み忘れがある |
| <input type="checkbox"/> 薬に対する理解が不十分であり、服薬が中断する心配がある | |

◆ リハビリテーションが退院後も必要

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> ご自宅に帰ると、寝たきりや廃用症候群になりやすい |
| <input type="checkbox"/> 継続してリハビリが必要 |

◆ 介護（看護）を取り巻く、ご本人やご家族の状況

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> ひとり暮らし | <input type="checkbox"/> 入退院を繰り返している |
| <input type="checkbox"/> 介護（看病）をする人がいない | <input type="checkbox"/> 終末期をご自宅で過ごしたいとの希望がある |
| <input type="checkbox"/> ご家族の負担が大きい | <input type="checkbox"/> 病気に対する理解が出来ていない不安が大きい |
| <input type="checkbox"/> 在宅療養するご本人やご家族の | |

Q2 利用するためにはどうすればいいの？どんな流れですか？

A 下記に訪問看護の利用開始までの流れを記載しました。ご不明な点があれば、お気軽にご連絡ください。



入院中であれば、**病院の相談員様**

介護保険をお持ちの方は**担当のケアマネジャー様**

へ相談ください。



主治医から
了承を得られましたら

『訪問看護指示書』

を作成してもらいます。

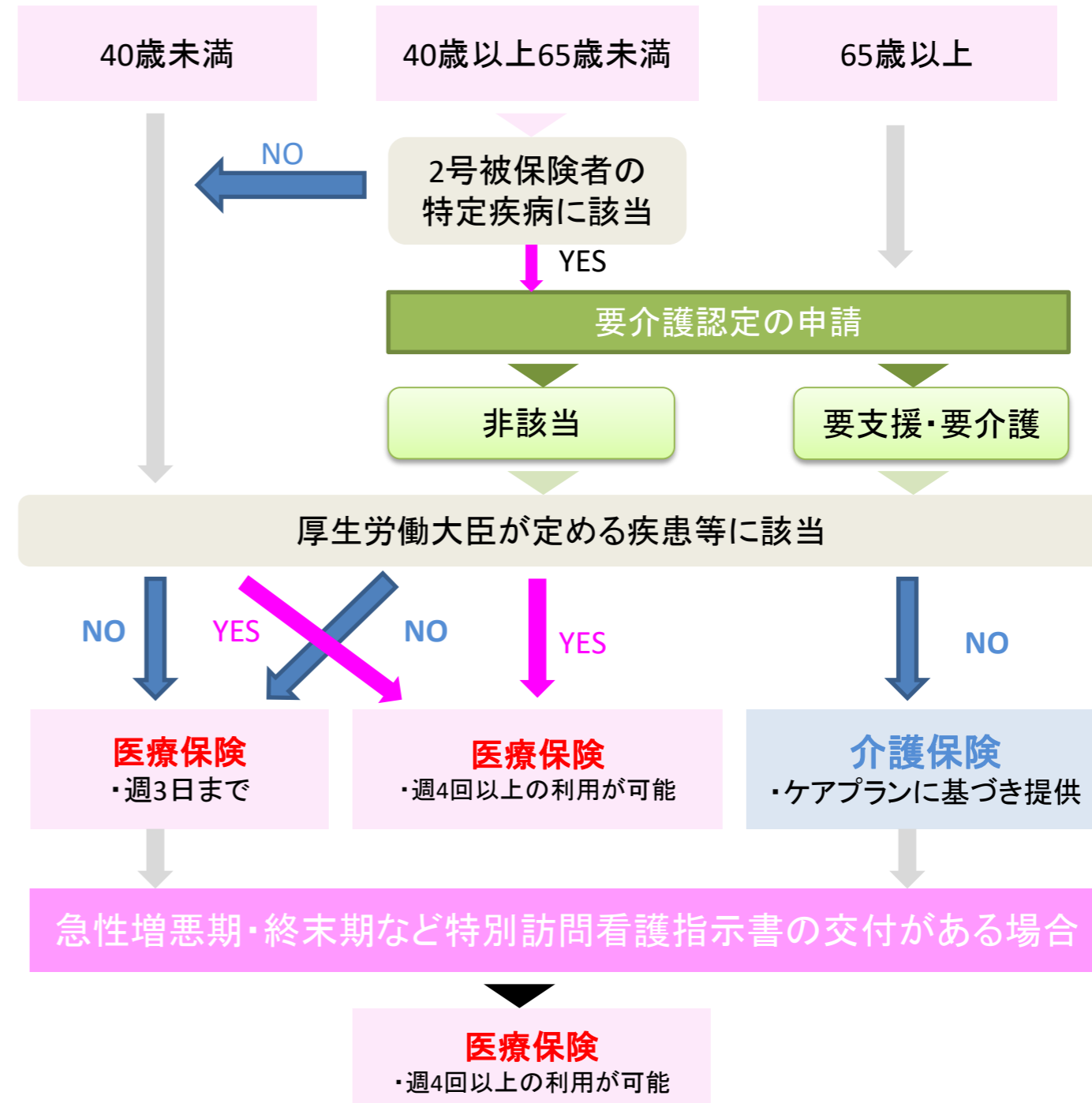


訪問看護指示書が交付され次第、**契約～初回訪問**となります。

介護保険の場合はケアマネジャー様が**ケアプラン**を作成し、**担当者会議**を行った後の訪問開始となります。

Q3 利用するのは医療保険？それとも介護保険？

A 下記にフローチャートを記載しました。ご参考ください。



厚生労働大臣の定める疾患等

- ・末期の悪性腫瘍
- ・多発性硬化症
- ・重症筋無力症
- ・スモン・筋萎縮性側索硬化症
- ・脊髄小脳変性症
- ・ハンチントン病
- ・進行性筋ジストロフィー症
- ・パーキンソン病（ホーエン・ヤールの重症度分類がステージ3以上であって生活機能障害度がⅡ度又はⅢ度のものに限る）
- ・多系統萎縮症（線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群）
- ・プリオン病
- ・亜急性硬化性全脳炎
- ・ライソゾーム病
- ・副腎白質ジストロフィー
- ・脊髄性筋萎縮症
- ・球脊髄性筋萎縮症
- ・慢性炎症性脱髄性多発神経炎
- ・頸髄損傷
- ・後天性免疫不全症候群
- ・人工呼吸器を使用している状態

訪問看護

「病気や障がいがあっても住み慣れた家で暮らしたい」
「人生の最後を自宅で過ごしたい」と望まれる方が増えています。でも、「家族だけで介護や医療的ケアができるだろうか」「一人暮らしだけど大丈夫?」と不安に思うことも多いと思います。



そんな時に頼りになるのが訪問看護です。訪問看護の強みは、地域で暮らす赤ちゃんから高齢者まですべての年代の方に、関係職種と協力し合って、一人ひとりに必要な支援が行えるところです。



ケアーズの看護師の中には多種多様な資格を持ったスタッフが多数在籍

看護師の資格以外に

保健師、呼吸療法認定士、ケアマネジャー、医療リハビリナース、おむつフitter、福祉住環境コーディネーター2級などの資格を持つスタッフが多数在籍しています。

専門的な知識と技術で安心安全なご自宅での生活を支援させていただきます。

主なサービス内容

■ 病状の観察/健康管理

病状の経過観察
全身の健康チェックをします。
必要時には24時間緊急対応も可能です。



■ 医療機器の管理/操作指導

人工呼吸器や
在宅酸素等の
管理や緊急時の対応



■ 生活に必要なお手伝い

清潔ケア：清拭、洗髪、入浴
栄養ケア：食事水分、経管栄養
排泄ケア：おむつ交換
カテーテル管理
排便コントロール

■ 介護相談 / ご家族の支援

生活相談・療養指導
介助方法の検討・説明



■ 服薬確認・管理・相談

内服状況の確認
薬の効果・副作用の確認
病院薬局との連携



■ 床ずれや傷の予防・処置

床ずれの予防・処置
外科的な傷の処置・管理



■ 緩和ケア

痛みや不安の緩和
薬のコントロール・相談
ご家族の精神的な支援



■ 認知症

認知症介護相談
介護者支援
事故防止策の
検討・説明



■ 関連先との連携・連絡調整

医療機関やケアマネジャー
その他、関連各所との情報連携
安心して退院できる退院指導

■ リハビリテーション

看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるリハビリ
生活環境や身体機能に合わせた個別リハビリテーション

リハビリテーション

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

病院と違い、**在宅では一人ひとりの生活に寄り添ったリハビリが出来ること**が大きな特徴になります。

「少しでも長く自宅で過ごしたい」「少しでも自分の力で出来るようにしたい」そんな一人ひとりの気持ちに応えるため、**専門的知識と技術**を持ったリハビリスタッフがご自宅にお伺いし、オーダーメイドのリハビリプランを提供させていただきます。また、ご本人を支えるご家族や周囲の方に対しても、介護指導や介護相談を行い、ご本人だけでなく、ご本人に関わる全ての方が『笑顔』になれるようにお手伝いをさせていただきます。



ケアーズのリハスタッフの中には多種多様な資格を持ったスタッフが多数在籍

療法士の資格以外に

呼吸療法認定士、リンパ浮腫セラピスト、福祉住環境コーディネーター2級、パーキンソン療養指導士、認知症ケア専門士などの資格を持つスタッフが多数在籍しています。それぞれのスタッフが専門性を生かし、お互いに知識と技術の向上を図っています。

利用者様には質の高いリハビリを提供し、より良い在宅生活を送れるように支援をさせていただきます。

主なサービス内容

身体機能の評価・向上

- ・ 関節可動域・筋力
- ・ 麻痺の有無
- ・ 基本動作の自立度
- ・ 発達支援
- ・ 歩行動作



福祉用具・家屋改修 提案

- ・ 杖や歩行器の提案
- ・ 手すり設置の提案
- ・ ベッド及び周辺の環境整備



日常生活動作練習・助言

- ・ 着替え動作
- ・ トイレ動作
- ・ 入浴動作
- ・ 食事動作



ご家族へのフォロー

- ・ 日常生活動作の介助方法
- ・ 介護相談



コミュニケーション手段の獲得

- ・ 知的機能と言語機能の評価
- ・ 失語症の評価
- ・ 絵や文字カードを用いた言語表出と理解の訓練
- ・ 実用コミュニケーション訓練



摂食・嚥下訓練

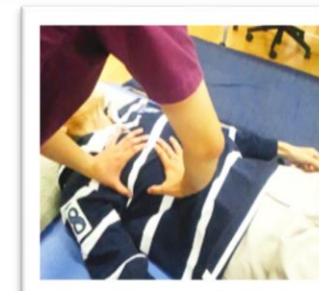
- ・ 食事の姿勢設定
- ・ 食事方法、介助方法の検討
- ・ 食事に利用する物品の選定
- ・ 口腔ケアの方法の検討
- ・ 食中、食後のムセへの対策
- ・ 適切なトロミ剤の量
- ・ 食事方法（硬さ・大きさ）
- ・ 1回の食事量の調整



リハビリ手技 紹介

呼吸リハビリテーション

胸郭や頸部のこわばりに対してリラクゼーションを行い、呼吸介助や呼吸指導を行うことで呼吸苦の改善を図ります。また、生活場面で呼吸苦になりやすい場面を評価して、楽に動ける動作や休憩頻度など提案し、ご自身でできる日常生活動作の獲得を目指します。



パーキンソン病に対するリハビリ

症状の進行に伴い、身体機能の低下により転倒や誤嚥を繰り返すようになるのが認められます。リハビリでは、身体機能の改善だけでなく、福祉用具の導入や家屋改修の提案を行い、ご自宅で安心・安全に過ごせるようにお手伝いをさせていただきます。

